# 千葉大学医学部附属病院で妊娠糖尿病のため受診された患者の皆様、ご家族の皆様へ

２０２６年９月１７日

産科・婦人科

産科・婦人科では、持続血糖モニタリングを用いた妊娠糖尿病の管理に関する研究を行っており､以下に示す方の診療情報等を､本文書の公開日以降に利用させていただきます。研究内容の詳細を知りたい方、研究に情報を利用して欲しくない方は、末尾の相談窓口にご連絡ください。

**本文書の対象となる方**

２０１６年１月１日～２０２５年１０月３１日の間に妊娠糖尿病と診断され、持続血糖モニタリングで管理された方

**１．研究課題名**

「妊娠糖尿病における持続血糖モニタリングの有用性の検討」

**２．研究期間**

２０２５年承認日～２０２７年３月３１日

この研究は、千葉大学医学部附属病院観察研究倫理審査委員会の承認を受け、病院長の許可を受けて実施するものです。

**３．研究の目的・方法**

妊娠糖尿病とは、妊娠中に血糖値が高くなってしまう病気で、日本人の妊婦さんの約10%に発症すると言われています。妊娠中の血糖コントロールが悪いと、早産や難産、胎児死亡(生まれる前にお腹の中で赤ちゃんが亡くなってしまう)、巨大児、赤ちゃんの生まれた後の呼吸障害や低血糖などのリスクが上昇します。そのために厳重な血糖コントロールが必要になり、妊娠糖尿病と診断されると自己血糖測定を行ってもらいます。しかし自己血糖測定は食事前後の血糖測定しか行えず、継続的な血糖の変化を捉えることは難しいです。一方、近年は糖尿病患者さんの血糖管理に「持続血糖モニタリング」と

いう器械を用いることがあります。これは食事前後の血糖測定だけではなく、数日間の血糖値を持続的に測定できるものです。日本での症例は少ないですが、妊娠糖尿病患者さんでも使用することがあります。

この持続血糖モニタリングを使用し管理した妊娠糖尿病患者さんの妊娠経過や血糖値の変化などを解析することで、妊娠中のより良い血糖コントロールに役立てられると考えます。

本研究では、2016 年 1 月 1 日から 2025 年 10 月 31 日までの診療情報を使用します。診療録より氏名等の個人を識別できる情報を削除し、研究ＩＤに置き換えます。研究ＩＤに置き換えた情報が千葉大産科臨床研究室に提供され、解析が行われます。氏名と研究ＩＤとの対応表は外部には提供されません。

## ４．研究に用いる情報の種類

診療録に記録されている診療情報、身長・体重、過去の妊娠分娩について、血液検査値、妊娠中の合併症の有無、分娩時の情報（分娩方法、お子さんの出生時の体重や合併症、NICU 入院の有無）などについて調べます。

## ５．研究組織（情報を利用する者の範囲）

| 研究代表機関名 | 研究代表者 |
|---|---|
| 千葉大学医学部附属病院 | 甲賀かをり |
| 共同研究機関の名称 | 研究責任者 |
| 医療法人社団　直心会　轟クリニック | 茂手木宏美 |
| 既存の試料･情報の提供のみを行う機関の名称 | 責任者 |
| 稲毛バースクリニック | 鹿野良誠 |

## ６．個人情報の取り扱いについて

本研究で得られた情報は、氏名等の個人を特定するような情報を削除し、どなたのものかわからないように加工して、千葉大学医学部附属病院産科・婦人科および各機関において厳重に管理します。研究結果を学術雑誌や学会で発表することがありますが、個人が特定されない形で行われます。

本研究についてご希望があれば、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で、研究計画書及び研究の方法に関する資料を入手又は閲覧する事ができますので、相談窓口までお申し出ください。個人情報の開示に係る手続きの詳細

については、千葉大学のホームページをご参照ください。

（URL：http://www.chiba-u.ac.jp/general/disclosure/security/privacy.html）

## ７．研究に関する相談窓口について

研究に情報を利用して欲しくない場合には、研究対象とせず、原則として研究結果の発表前であれば情報の削除などの対応をしますので、下記の窓口までお申し出ください。

情報の利用をご了承いただけない場合でも不利益が生じる事はありません。

その他本研究に関するご質問、ご相談等は、下記の窓口にご遠慮なくお申し出ください。

**相談窓口**
**〒２６０－８６７７**
**千葉県千葉市中央区亥鼻１－８－１**
**千葉大学医学部附属病院（病院長：大鳥 精司）**
**産科・婦人科　医員　廣岡千草**
**０４３（２２２）７１７１　内線 ５３１４**